

国 語

注 意

1. 問題は全部で29ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。(その1)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 日本文学科受験者は問題四も解答すること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

— 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

種とは生物の種類分けの基本的な単位である。種とは、その成員間で交配が行われるか交配可能な自然集団で、他の同様な集団と生殖的に隔離されているもの、と定義できる。種レベルでの多様性とは、このように定義された集団についての多様性である。現時点では、地球上に二百万ほどの種が記載されているが、実際にはその十倍以上が存在するであろうと言われている。われわれの目に触れやすいものを挙げると、昆虫七十五万、鳥類九千、哺乳類四千、顕花植物二十五万ほどの種が記載されている。

これらの種は、在来種、固有種、外来種に分類できる。在来種とは、本来その地域に生息する種のことである。固有種とは、在来種の一部で、世界でその特定の地域にしか見られないものを指す。固有種は、そこから絶滅すれば世界から消滅することになる。日本には両生類が六十一種おり、その七四%が固有種である。外来種とは、Aではない、すなわち本来その地域に生息しない種のことである。外来の過程は様々で、人間により積極的に導入されたもの、人間の経済活動に伴って移入したもの、生物自身の移動も含む自然の作用により拡散したもの等がある。外来種の中で、人間の健康や生産活動に好ましくない影響を及ぼすものを特に侵略的外来種という。

生物多様性が守られるべきものであることは直感的にはわかるが、説明するとなかなか難しい。わかりやすいのはその有用性、使用価値である。多様な生物が存在することで、われわれはそれらを資源として利用し、水の浄化や防災に利用し、文化的な対象として利用することができる。しかし多様性は有用性に限るものではない。多様性は生命の本質である。遺伝子複製の仕組みや自然選択による進化には、多様性を産出する機能が必然的に含まれている。だから私たちは多様性を重んずるのである。

次に、外来種が生物多様性に与える影響を考えてみよう。そもそも、¹在来種と外来種の区分が恣意的であることを指摘したが、ピアスの『外来種は本当に悪者か?』である。トムソンはほぼ同時期に発表された『外来種のウソ・ホントを科学する』で、外

来種問題を五つの「神話」として分析している。この場合、「神話」とは

B

- 一、 外来種による侵入が生物多様性を損ない、生態系の機能を失わせる。
- 二、 外来種は私たちに多額の損害を与える。
- 三、 悪いのはいつも外来種。
- 四、 外来種はわたしたちを狙って野をうろついている。
- 五、 外来種は悪者、在来種はいい者。

トムソンはこれらの神話についてそれぞれ多くの反例を挙げるか、または根拠がハクジャク²であることを説明している。神話一については、研究者が対象を選ぶ際の偏好として外来種が実際に害を及ぼしている事例を選びがちであることを指摘している。例えば、ハワイでは多くの外来種が導入され、そのことで絶滅した在来種はほとんどなく、結果として生物多様性が増加している。神話二については、ヒアリが米国で年間二十億ドルの損失をもたらしているという噂を分析している。このコストはヒアリによる損失ではなく、防除のコストである。ヒアリ防除は、化学薬品会社の利益のために大げさに喧伝された可能性があるらしい。神話その三については、ミンク^{*}の例を挙げている。ミンクの導入により、同様な生態学的環境を持つカワウソが減少たとされた。事実は異なり、ミンクとカワウソの食性はほとんど重ならない。現在では、カワウソの減少は有機塩素系殺虫剤によると考えられている。神話四、五についてはもう説明する必要もないだろう。これらは事実というより、人間の危険検出に関する認知バイアスと考えたほうが正しい。悪い方向への変化は、

C

生物に帰してしまいがちである。凶事はよそ者の

せい。

ピアスやトムソンの外来種についての主張を統一的に理解するすべはなかるうか。私は、移入の速度が問題のひとつとして捉えられるのではないかと考える。在来種と外来種とは、双方とも、移入時期の違いに過ぎないという主張は共通している。移入

に関して自然要因しか働かなかった時代にはそのように考えることができるだろう。確かに、在来種の相互作用で一定の安定を構成した環境に外来種がゆつくりと時間をかけて移入してきた場合、外来種は定着せず駆逐されるか、在来種と平衡を取りながら同化してゆくであろう。これは、在来種の側に外来種からの防御機構が進化することで実現される。D、人為的に、急激に移入がなされた場合、何らかの不均衡が人間の目に見える形で現れることは、ゆつくりと移入してきた場合に比べるとはるかに多いに違いない。³不均衡の度合いは、進化の歴史をどのくらい共有してきたかによると考えられる。

生物多様性について、影響ある人物たちが興味深い発言をしている。* アクアラングの発明者で海底の世界を撮影しカンヌ映画祭のグランプリとアメリカのアカデミー賞を獲得したクストーは、「南極のように種の数の少ないところの生態系は、きわめてもろい。ところが赤道直下のように生物の種が多ければ、生態系は強い。この法則は、文化にも当てはまる」と語っているようだ。女性の交換が親族構造の根本的機能であることを指摘して構造主義の祖とされる文化人類学者のレヴィ・ストロースは、「文化の多様性と生物多様性は有機的に結ばれている」と言う。これらの言明は、直感に強く訴える。レヴィ・ストロースやクストーであれば、これで許されるが、私程度では許されないだろう。私はこの言明に論理付けする必要がある。まず、生態系の強さと生物多様性の関連について考える。

遺伝子レベルの多様性ではこれは理解しやすい。ある種の個体群が遺伝子レベルで変異を持たないとどうなるか。つまりクローンだったかどうか、ということだ。クローンは免疫応答も同一なので、ある病原体に免疫が作れない場合には、その病原体によりすべての個体が死滅する。十九世紀半ばのアイランドでは、人口の三割が単一品種のジャガイモを主食としていた。記録によれば、成人が一日で五〇〜八〇個のジャガイモを食していたといわれる。これではジャガイモしか食していなかったと言っても過言ではない。ニューヨークに発しヨーロッパに入ってきた疫病によりジャガイモが不作となり、一〇〇万人(人口の二割)もの死者が出た。貧困層の多くがゲール語を話しており、このことでゲール文化に壊滅的な被害があった。多様な品種のジャガイモを栽培していればこの危機は避けられたかもしれない。潜在的な問題がバナナにもある。現在栽培されているバナナの九十九%はキャベンディッシュ種のクローンである。これがなんらかの疫病で不作になると、バナナに栄養依存している貧しい国々で

飢饉が起こる危険がある。

一万三〇〇年前、人類は一週間のうち数百種類の食物を消費している。現在、人類が消費するカロリーの九〇％はわずか十五種(とその亜種)の植物から得られているという。これら十五種の植物に疫病が生じてしまったら、世界中で多くの餓死者が出るであろう。生物多様性をそぎ落とすことで大量生産を可能にしてきた私たちの農業は、結果的には非常に危うい均衡の上にかろうじて立っている。

さて、種レベルではどうだろう。多様な種が共存するためには、異なる資源を利用する必要がある。ここで言う資源とは、栄養素、日照、植生、温度など、様々な条件を含む。前述のように、ある種が利用する資源の組み合わせを生態学的環境と呼ぶことにする。ある地域が多数の種を保持するためには、環境が寄せ木細工(モザイク)化され、多様な生態学的環境を支えることが必要である。

多様な生物の冗長な相互作用に支えられた環境は(伝染病や気候変動などの)破壊的な変化を E することができ、
という考えは納得しやすい。種にとって劣悪な環境と好ましい環境があり、それぞれの種にとつての劣悪さと好ましさがあり、かつそれぞれの種が環境に固有の応答をとれば、多くの種が共存できる。例えばミジンコは環境が悪化すると休眠卵を産んでその時期をやり過ごし、環境が回復すると孵化する。複数のミジンコが競争関係にあつても、休眠卵を作る環境変化が異なれば、環境を寄せ木細工化することができ、共存可能となる。

しかしこのような関係では、必ずしも種の豊富さが環境を支えているとはいえない。環境の寡占によって、資源が枯渇する状況を考えねばならない。捕食者・被捕食者の関係を考えると、そのような例があるのかもしれない。複数の種の共存を促進するメカニズムを相利共生的な種間相互作用という。植物では多数の送粉者(花粉を運搬する動物)と複雑な関係を築き安定的なネットワーク構造を発達させることで多種共存を可能にしている。このような仕組みは、少数種よりも多数種が共存することにより安定する。

レヴィ・ストロースやクストーの言葉を補えば、「文化多様性が高い文明ほど頑健である」ということになる。再び、彼らに

とってこの言明は自明であつただろうが、私はこれを論理的に展開せねばならない。ここで比喩されているものは、種と文化、生態系と文明である。まず、種と文化の比喩はどうであろうか。種が異なる生態学的環境を利用するように、文化も異なる生態学的環境を利用する。種が分化したり滅亡するように、文化も分化したり滅亡する。種は個体群からなるように、文化も個体群が支える。以上から、種と文化の比喩は成立しているといえる。

次に生態系と文明である。生態系が複数の種の相互作用で成立するように、文明も複数の文化の相互作用で成立する。生態系が動的に変化するように、文明も動的に変化する。生態系が種の階層性から作られるように、文明も文化の階層性から作られる。最後は少し説明が必要であろう。生態系は種によって利用できる栄養形態の階層から成っている。太陽光と二酸化炭素から酸素と糖を作る植物を栄養として草食動物が生き、草食動物を栄養として肉食動物が生きる。それらの動物の排泄物を利用して土壌が豊かになり植物が生きる。人間が従事する産業も同様に階層化されており、それぞれの階層に固有の文化が生じる。これらの総体が文明である。以上から、生態系と文明の比喩も成立可能である。

(岡ノ谷一夫「外来種論争から考える日本語と英語」による)

(注)

*ミンク…イタチ科の哺乳類。

*アクアラング…水中呼吸器。

問一 空欄 A に入る語句として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 1。

① 固有種

② 絶滅種

③ 在来種

④ 特定種

⑤ 変種

問二 傍線部1「在来種と外来種の区分が恣意的である」とあるが、その内容の説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **2**。

- ① 在来種と外来種の区別は、単なる生物分類学上の相違に過ぎないということ。
- ② 在来種と外来種の区別は、生息地域の相違を反映しているに過ぎないということ。
- ③ 在来種と外来種の区別は、当該地域の環境への適応度の相違を反映しているに過ぎないということ。
- ④ 在来種と外来種の区別は、両者が当該地域に移入した時期の相違に過ぎないということ。
- ⑤ 在来種と外来種の区別は、固有種と生物学的な関係性を有するか否かの相違に過ぎないということ。

問三 空欄 **B** に入る記述として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **3**。

- ① 長い間人々によって畏怖の念をもって信じられてきた事柄であることを意味(または含意)した言い方である。
- ② 人々によって伝承されてきた神聖さを帯びた物語であることを示唆(または意味)した言い方である。
- ③ 多くの人々が信じているが、科学的には検証できていないことを示唆(または揶揄)した言い方である。
- ④ 人類の世界観を超自然的存在の関与の所産として捉えるべきであることを示唆(または意味)した言い方である。
- ⑤ 人々の不正確な記憶により作られた単純な物語に過ぎないものであることを揶揄(または示唆)した言い方である。

問四 傍線部2「ハクジャク」を漢字で書きなさい。解答用紙(その2)を使用。

問五 空欄 **C** に入る語句として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **4**。

- ① 危険な
- ② 野生の
- ③ 有害な
- ④ どう猛な
- ⑤ 見慣れない

問六 空欄 **D** に入る語句として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **5**。

- ① なぜなら
- ② 要するに
- ③ すなわち
- ④ もちろん
- ⑤ しかし

問七 傍線部3「不均衡の度合いは、進化の歴史をどのくらい共有してきたかによる」とあるが、その内容の説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 6。

① 外来種が時間をかけて移入してきた場合、在来種との共存バランスが徐々に崩れ、在来種が外来種によって駆逐される事態が生じること。

② 在来種と外来種の共存バランスの不均衡は、両者が同一環境の中で進化を共有してきた期間が短いほど目に見える形で現れやすいということ。

③ 進化の過程の中では在来種と外来種は連続的であり、両者の生物学上の区別は存在せず、その区別はあくまで便宜的なものに過ぎないということ。

④ 南極のように種の数が少ない地域と赤道直下のように種が多い地域とでは生態系の強さに違いがあり、生態系の強さには明確な地域差が存在するということ。

⑤ 在来種と外来種は進化の歴史をどの程度共有してきたかによって区別されるものであり、当該地域への移入時期の違いは両者を分ける本質的な基準とはならないということ。

問八 傍線部4「生物多様性をそぎ落とすことで大量生産を可能にしてきた私たちの農業は、結果的には非常に危うい均衡の上にかろうじて立っている」とあるが、その内容の説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 7。

① 生物多様性が損なわれることで、世界中の食物の大半が先進国に集中し、発展途上国では疫病により多く餓死者が出る恐れがあるということ。

② 一週間のうちに消費する食物の種類は、一万三〇〇〇年前と比べると十分の一以下に減っており、今後その数はさらに減少する可能性があるということ。

③ 本来ならまだ食べられるはずの食品が廃棄される食品ロスが問題となっており、その対策を早急に講じなければ、近い将来、世界中で多くの餓死者が出る恐れがあるということ。

④ 先進国では人間の食の嗜好性が大きく変化し、生産する植物の種類も減ったことにより、今後、これらの作物が不作となつた場合、先進国において多くの餓死者が出る恐れがあるということ。

⑤ 限られた種類の植物の大量生産化により、人類が消費するカロリーの大半が十五種ほどの植物に依存しており、これらの植物が疫病にかかった場合、世界中で多くの餓死者が出る恐れがあるということ。

問九 空欄 E に入る語句として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 8。

① 緩衝

② 促進

③ 止揚

④ 醸成

⑤ 拡散

問十 傍線部5「生態系と文明の比喩」の説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

9。

① 文明に文化の階層性が存在することは、生態系に種の階層性が存在することと部分的な関連性を持つ現象とみなし得る。

② 人間の社会構造や産業に見られる階層性は、種の生態環境や栄養形態に見られる階層に由来するものとして捉えることができる。

③ 文明が複数の文化の相互作用と階層性を有することと、生態系が複数の種の相互作用と階層性を有することとは類似している。

④ 文明が動的に変化し、崩壊することがあることと、生態系が動的に変化し、破壊されることがあることとの間には何らかの因果関係が読み取れる。

⑤ 原住民族にとって異民族の移入が脅威となることは、在来種にとって外来種の移入が脅威となることと相似した現象である。

問十一 本文の内容に合致しないものを次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

10。

① それぞれの種は異なる資源を利用することで共存可能となる。

② 外来種は人間の健康や生活環境をおびやかすことは全くない。

③ 相利共生的な種間相互作用によって、複数種が安定的に共存可能となる。

④ 現在では、カワウソの減少はミンクの移入とは関連がないと考えられている。

⑤ 文明が頑健であるためには、文化が多様性に富んだものでなければならぬ。

二 次の文章は、『狭衣物語』の一節である。主人公の大将は、女二の宮との間に若宮を儲けているが、その事情は伏せられ、三歳になる若宮は女二の宮の父、嵯峨院の子として育てられている。いま、若宮は伯母である女一の宮とともに一条の宮に暮らし、嵯峨院の信頼厚い大将は若宮の後見のような立場にある。これを読んで後の間に答えなさい。

雪降りて心細げなる夕つ方、大将殿、内裏うちよりまかでたまふまに、いかにもの心細げなるふるさとに、幼き人何心もなく紛れたまふらむと思ひやられたまへば、そなたさまにものしたまへるに、思しやりつるもしるく、山里の心地して、人目もまれなるに、若宮の御乳母たちばかり端つ方にながめけるほどなり。今ぞひき返しなどして、御座おましども直しなどしつ、うちとけたる姿どもを、かたはらいたげに紛らはしたるさまをかし。

若宮は寝起きてむつかりたまへるに、かく渡りたまへれば、喜びむつれきこえさせたまふ。いみじうあはれにて、参らざらましかば、いかに口惜しからましとて、うち涙ぐみたまふけしきなど、なほざりの御心ざしとは見えす、いみじうあはれと思ひきこえたまへるを、見たてまつる御乳母たちなどは、かかる人ものしたまはざらましかば、限りなき宮仕へといふとも、この頃などはいかばかり心細く寄る方なき心地せまし、と、殿の御心ざしをうれしう思ひけり。

「見えさせたまはぬほどは、つれづれに心苦しう、院のさしもおろかならず思ひきこえさせたまふをば、怖おぢたてまつらせたまひて」など聞こゆれば、⁷「院の御心ざしに劣るべきにもあらぬものを。なほ幼き御身にも大人びさせたまふまに、思し知るにこそ」などのたまひて、端つ方なる御座にうち臥したまへれば、若宮も御懐に入りたまひて、何とはかばかしうも聞こえぬことを聞こえ戯れたまふ御あはひ、いとからぬ児どもならば、かたはらいたうやと見えさせたまへり。

白き唐からの御衣おんせどものなべてならぬに、同じさまなる紅の重なりたる、常のことぞかし。夕ばえにや、なべてならずめでたう見ゆ。霰あられのいとおどろおどろしう降りたるに怖ぢたまひて、御衣を引き被かきて身にかきつきたまへる、いみじうらうたくおぼえたまへば、「参らざら A ば、誰が懐に入いらせたまはまし。かく恐ろしき雨も降らぬ、大臣などももろともにはべる所に、出でたまひねよ」と申したまへば、「大臣は好よしな。嵯峨院こそ髪はきろきろとして恐ろしけれ」と、まづ落としきこえたまふぞ

をかしきや。

(『狭衣物語』卷三による)

(注)

*ふるさと…なじみの所。ここは、一条の宮。

*見たてまつる御乳母たち…大將が若宮の実の父であるとは知らない。

*院…上皇である嵯峨院。帝位を下りるとともに出家し、嵯峨院に住む。

*雨…音を立てて降るものを、子ども相手に大まかに雨と言ったか。

*大臣…大將の父、堀河の大臣。

*きろきろ…つるつる。

問一 傍線部「思しやりつるもしるく」の解釈として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

11。

- ① お心のうちが顔に表れて
- ② 想像なさっていたとおり
- ③ 意外にもご予想とは違って
- ④ お考えになっていた効があつて
- ⑤ ひたすら思いがつのつてしまわれて

問二 傍線部2「人目もまれ」は、「山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へば」(古今集・冬・源宗子)をふまえた表現である。この歌の「かれ」に用いられた掛詞を、その二つの意味がわかるように、(例)にしたがって記せ。解答用紙(その2)を使用。

(例) まつ(松/待つ)

問三 傍線部3「たまふ」、傍線部4「たまへ」は、それぞれ誰に対する敬意を表しているか。その組み合わせとして最適なものを次の①～⑥から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 12。

- ① 3 〓 大将 4 〓 若宮
- ② 3 〓 大将 4 〓 乳母
- ③ 3 〓 大将 4 〓 大将
- ④ 3 〓 若宮 4 〓 大将
- ⑤ 3 〓 若宮 4 〓 乳母
- ⑥ 3 〓 若宮 4 〓 若宮

問四 傍線部5「ものし」は、どのような意味か。本文中に用いられることばで言い換えた場合、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 13。

- ① 思ひ
- ② 出で
- ③ 渡り
- ④ まかで
- ⑤ ながめ

問五 傍線部6「心苦しう」、傍線部8「らうたく」の意味として最適なものを、それぞれ次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は、6「心苦しう」＝**14**、8「らうたく」＝**15**。

6「心苦しう」

8「らうたく」

- | | |
|---------|----------|
| ① いたわしく | ① 気の毒に |
| ② 申し訳なく | ② 気どって |
| ③ 気がかりで | ③ 無邪気に |
| ④ 嘆かわしく | ④ かわいらしく |
| ⑤ 悲しく | ⑤ かわいそうに |

問六 傍線部7「院の御心ざしに劣るべきにもあらぬものを」とあるが、そこにこめられた気持ちとして最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は**16**。

- ① 乳母たちの非難に対して、若宮の父として抗議しておきたい、ということ。
- ② 院の若宮への思いは、実の父ではないとはいえ、自分に劣らない、ということ。
- ③ 若宮との血のつながりがあっても、身分の高さでは院に及ばない、ということ。
- ④ 院に比べて自分の若宮への愛情が不足していることを、反省している、ということ。
- ⑤ 実の父であることは口にできないが、若宮を思う気持ちは院に劣らない、ということ。

問七 空欄 **A** に入る最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は**17**。

- | | | | | |
|-----|-----|------|-------|--------|
| ① ね | ② め | ③ るれ | ④ ましか | ⑤ まほしく |
|-----|-----|------|-------|--------|

問八 『狭衣物語』とほぼ同時代の作品を次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は**18**。

① 枕草子	② 更級日記	③ 落窪物語	④ うつほ物語	⑤ 源氏物語
-------	--------	--------	---------	--------

三 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

日本には昔から「ほどほど」という実にいい言葉があります。もつとも子どもに対しては、ほどほどのところでやめておきなさいと諭してしまうよりも、飽きるまでやらせる育て方のほうに一票を投じたいと思いますが、仕事の経験を積んでくると、この言葉の深い意味合いが少しずつ分かってきます。「ほどほど」には、やりきらずに手前で留めておくといったニュアンスがあります。これをデザインにそのまま置き換えてみると、「ほどほどのデザイン」となる。それだけを耳にすれば、あまりいいデザインではないような印象でしょうが、「ほどほどのレベルを徹底的にデザインする」、あるいは「ほどほどのデザインを極める」として捉えるなら、印象は一変するはずですよ。つまりここでお話ししたい「ほどほど」とは、やりきることも承知しながら、敢えて手前のほどよいところを見極め、そこで仕上げておくことなのです。

この、少し手前でほどほどに留めておくデザインによって生まれる「空き」こそが、人がものと自分なりの仕方できき合うことを可能にする余地になります。その人その人なりにものをカスタマイズできるのだと言ってもいい。そもそも人は、それぞれ価値観も違えば生活におけるあらゆる行動のとり方も一人ひとり違います。しかるに、完成しきって「空き」を持たないものを前にして、なんだか壁に阻まれて²いるみたいだと感じたことのある方は少なくないと思います。もののほうから一方的に「こう使え！」と偉そうに言わんばかりであったり、ものとしては美しいけれどまったく実用する気にならなかったりするもの、「空き」がないためなのかもしれないのです。メーカーやデザイナーは、ついそのものだけを見なしての完成度を目指してしまう傾向があります。当然「空き」など生まれようがない。しかし本来デザインは、それ自体に価値があるわけではなく、デザインされたものと付き合う人との関係の中で効力を発揮するのです。人の価値観はみな違うのだから、デザインは人それぞれの価値観で関わることをできる、ほどほどの領域で留めておくべきなのではないでしょうか。そこに「空き」が生まれま^すす。

「ほどほど」という曖昧な日本語の中に、実はデザインがなすべき大切なヒントが含まれているように思います。そしてこの

「ほどほど」を、古来の日本の日常生活用具のそここに垣間見ることができるとのこと。

私たちの日常生活の中で何気なく使われている道具を人との関係で観察し直してみると、日本ならではのデザインが見えてきます。例えば、使う人の能力を前提に成立しているもの。ご飯を食べる時に使う「日本の箸」はその代表格です。先を細くした二本の棒を使いこなすだけで、小さな米粒や豆や、けっこう大きなジャガイモまで挟むことができるばかりか、この単純さわまる道具で肉を切り離したり柔らかいものを刺して割ったり、みそ汁をかき混ぜたり具のツルツル滑るワカメをつまみ上げて口へと運んだり、海苔で白米を包んだりと、用途は多様で、小さな頃から経験を積んだ我々は、毎日のように二本の棒を無意識に使いこなしているのです。ここには西洋のフォーク、ナイフとは全く異なる「関係のデザイン」が見られます。フォーク、ナイフの進化について、ヘンリー・ペトロスキーが『フォークの歯はなぜ四本になったか』に詳しく書いていて、それはそれで微笑ましく、フォークとナイフが共に進化(共進化)した経緯は大変興味深い。現代のフォーク、ナイフには取手の部分があり、握りやすいように膨らんでいて、膨らみ具合がデザインの特徴になっている場合も多いでしょう。対するに、箸には取手に充たる部分がなく、取手どころか、どの指はどこに当てて、といったデザインは一切施されていません。ものの側から「このように使ってください」と教えずデザインではなく、素材のままそこに在って、見掛けは「どうぞご自由に」とやや素っ気ないくらいですから、箸を初めて目にした他国の人は、いったいこれをどう使うつもりなのか?と面食らうに違いありません。しかし使用法をマスターしてしまえば、食べるための道具としてのこの使い勝手の良さは他に代えがたいものになることでしょう。つまりは、二本の棒である単純さが、人の本来持っている能力をむしろ引き出しており、そこには人の所作さえもが生まれます。箸において日本人は、それ以上の進化による利便は求めてきませんでした。ですから西洋のフォークとナイフのような目に見える進化はしなかったものの、日本の箸は、ほぼ棒状のままの中国、韓国のそれとは異なり、かつ金属ではなく主に木や竹を使い、先をかなり細くすることで、より繊細な動きに対応できるよう微妙に進化したのみならず、漆塗りのような丁寧な表面仕上げや材質選びにも伝統が活かされてきました。このように当りまえの日常の中に、ほどほどのところで留めておきながら徹底的に突き詰めようとする日本らしさを見出すことができます。

食べるための道具は、食物と人間との関係によって進化してきたのですから、それぞれの国や地域の食文化全体の中で見極めていく必要がありますが、これだけ食の流通が行き届き、世界中の食べ物が入るようになった今もなお、日本の箸は、あくまで日本の箸であり続け、しかも日本食が世界的なブームとなり、箸を使いこなす海外の人々も増えている事実⁴に注目すべきです。日本のデザインは内向きでガラパゴス化しており、もつと世界に打って出るべきである、といった発言を時折耳にしますが、これはとんでもない誤解です。誰々が勝手にデザインした何々に、ではなく、アノニマス⁵(トクメイ)な箸のようなものにこそ、世界に誇るべき日本のデザインが豊かに潜んでいるのですから。

もう一つ、忘れてならないのが「ふろしき」です。何十通りもの包み方があり、あらゆる包む対象に合わせた対応が可能ならば、使わない時には小さく畳んでおける。つまり自由自在に変化できる一枚の布の状態に留めてあるわけで、それ以上はデザインしていません。バッグのように持手を付けたり袋状に縫ったりは敢えてせずに、どこまでも原型を保ったまま使われ続けている。我々が何もかもを便利至上に走っていたのであれば、すでに息絶えてしまってもおかしくなかった道具の一つなのかもしれません。しかし人間の側に備わっている「考える」力や「適応する」力を引き出す余地をたっぷり残した「ふろしき」という一枚の布が、宅配便で何でも便利に届くこの時代にまでちゃんと残っていること自体が注目に値します。これも、やり過ぎないほどほどのデザインの典型なのです。改めて申しあげるまでもなく、一枚の正方形の布であるがゆえに、「ふろしき」に施されるグラフィックデザインは無限の可能性に満ちている。今の時代、もつともつと便利さを求めてその場その場に合わせた様々な形態をつくり出しているのですが、ある意味で不便な一枚の布が、ほどほどなところで留められたこと⁶によって、無限と言いたいほど表現可能なキャンバスになっている。また、少しばかり昔の日本の生活を思い出してみれば、普段は折り畳んで仕舞い、使う時だけパタパタと広げて、必要なところに置けば室内の間仕切りとなる「屏風」などにも、「箸」や「ふろしき」と同じ「ほどほど」が見えてくるはず⁷です。今後甦るべき道具を、多く日常生活文化史に発見できるのではないのでしょうか。

デザインを考えることは、人の豊かさとは何かを考えることに他なりません。今、二十世紀後半を振り返ると、生活道具をあたかもオブジェのように完成させて、その美しさを競った時代のように思えます。二十一世紀も同様にオブジェとしてのデザイ

ンを我々はなし続けるべきなのでしょうか。日常を少し見回してみただけでも、箸やふるしきや屏風のように日本人の振る舞いに準じて育まれてきた素晴らしいものが残っているのだと気づかされます。そしてそれらが体現しているのが「ほどほどを極める」なのです。人間の身体どころか心までを使わないで済むようにしてきてしまった必要以上の間違った便利さを見直して、⁷ほどほどを極めるレベルを今一度模索しなければならぬ時が来ているようです。それこそは資源の問題、エネルギー問題、そしてこの国の文化的価値の問題などと密接に繋がってくると思われてなりません。

心と身体を使わないで済むような便利さが、果して人を本当に豊かにするのか。昔から普段よく言われてきた「ほどほど」や「いい塩梅」^{あんばい}などの言葉が、実は日本人が忘れてはならない大切な感性をしかと伝えているのです。

(佐藤卓「塑する思考」による)

(注)

*ヘンリー・ペトロスキー：アメリカ合衆国の工学者。

問一 傍線部「深い意味合い」とあるが、デザインに即したその説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 19。

- ① 「ほどほど」には「無理をしない」という意味があり、時間をかけ過ぎたデザインは時代遅れとなり人々の心を掴まないこと。
- ② 「ほどほど」には「適当に」という意味があり、デザインは完璧さを追求することなく、必ず手を抜くべきであること。
- ③ 「ほどほど」には「節度を持って」という意味があり、デザインに遊び心を過度に盛り込まないように心がけること。
- ④ 「ほどほど」には「多すぎないように」という意味があり、華美過ぎるデザインは世間の受容と乖離する可能性があること。
- ⑤ 「ほどほど」には「度を超さないように」という意味があり、デザインにはゆとりをもたせて、ほどよく仕上げること。

問二 傍線部2「壁に阻まれているみたいだ」とあるが、その説明として最適なものをつぎの①～⑤から選び、記号をマークせよ。

解答欄番号は 20。

- ① メーカーは商品の質を上げなければならないが、デザイナーは質よりもデザイン性の高さを追求しがちで、客が閉塞感を抱く。
- ② デザイナーは客の要望に応える必要があるにもかかわらず、偉そうにデザインを提示することが多く、客が気後れしてしまう。
- ③ 人々は流行に乗り遅れないように同一性の高いデザインを求めており、自由度が高いデザインを示されると、使いづらさを覚える。
- ④ 人はそれぞれ求めているものが異なるために、自由度が全くないデザインを提供されると、強制されているように感じる。
- ⑤ 人は日常生活では実用性の高いデザインを求めるが、デザイナーはカスタマイズ可能なものを良しとしているため、客が不快に思う。

問三 傍線部3「関係のデザイン」とあるが、その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 21。

① ナイフやフォークは共進化という形で相互に発展し、対する日本の箸は仕上げの表面加工や箸の材質に心を砕いた。

② ナイフやフォークは西洋の食文化によってデザインを変え、日本の箸は滑りやすい食物を好む食文化にあわせて進化した。

③ ナイフやフォークは取っ手が握りやすいように加工が繰り返されたが、日本の箸は利便を求めず、全く改良されなかった。

④ ナイフやフォークはデザインから指を置く位置を指定されるが、日本の箸は使用者の気分によって持ち方を変えられる。

⑤ ナイフやフォークは持ち手のデザインから用途が限定されているが、日本の箸は用途に応じて多様な使い方ができる。

問四 傍線部4「日本のデザインは内向きでガラパゴス化しており、もつと世界に打って出るべきである」とあるが、その発言を筆者はどう解釈しているか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 22。

① 日本のデザインが世界の人々に認められるように、その個性を前面に打ち出すべきである、ということ。

② 箸に代表される日本の道具は、海外の人でも訓練すれば使いこなせる高いデザイン性がある、ということ。

③ デザイン性の高い日本の箸は、材質選びや形状などのこだわりが強い、日本独自の道具である、ということ。

④ 使う人の能力によって様々な動作に対応できるように、日本の箸は多様なデザインの商品を販売すべきである、ということ。

⑤ 日本の箸は全世界に歓迎されるデザイン性を有しており、積極的に海外に輸出するべきである、ということ。

問五 傍線部5「トクメイ」の「メイ」と同じ漢字を含むものを次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

23。

- ① 彼はケンメイに働いた。
- ② ユウメイな作家の著作である。
- ③ 彼女のソウメイさに感嘆した。
- ④ 先生の教えにカンメイを受けた。
- ⑤ 政局がコンメイしてきた。

問六 傍線部6「無限の可能性に満ちている」とあるが、その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。

解答欄番号は 24。

- ① ふろしきは過度なデザイン性が施されていないことで、かえって使い手のニーズにあわせて、多様に用いることが可能である。
- ② ふろしきはデザイン性に豊んだ正方形の布であるために、人々が考える必要無しに、様々な包み方のアレンジが生まれた。
- ③ ふろしきは「空き」があるデザインであるため、人々はバッグの代用品として空間に余裕をもって多くの品物を包むことが可能である。
- ④ ふろしきは使い手に使い方を考えるように求める道具であるが故に、取っ手を付ける加工を施すなどの新たな使い方が提示された。
- ⑤ ふろしきが原型を保ったまま小さくたたんで収納可能なデザインであるため省スペース化がはかられ、荷物に「空き」が生まれた。

問七 傍線部7「ほどほどを極めるレベルを今一度模索しなければならぬ」とあるが、その理由として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **25**。

- ① 使い方を考えなくてよい道具ばかりに囲まれると、人間の思考・身体が衰え、本当の豊かさが阻害されかねないため。
- ② ほどほどのデザインの道具に様々な加工を施すことにより、国の資源やエネルギーが浪費される可能性があるため。
- ③ 芸術品のような美しさを道具に求めるあまり、箸やふろしきのような日用品の進化が阻害される危険性があるため。
- ④ 過剰なデザインが施された道具を使い続けると運動能力が低下し、身体に連動して心も文化的に貧しくなるため。
- ⑤ 必要な時に使い手が使用法を考える道具が身の回りになくなってしまうと、人々の生活の利便性が低下するため。

問八 この文章の内容と合致するものを、次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **26**。

- ① 日本食が世界でブームとなつている現状を踏まえ、海外の人にも受け入れやすいように日本の箸を改良しなければならない。
- ② 人間は一人ひとり生活をする際の行動の仕方が異なる以上、デザインは完成度を高める必要があることを忘れてはならない。
- ③ 古来の日本の道具に見られる「ほどほど」さが、二十一世紀のデザインに生かすべき重要な要素であることを認識すべきである。
- ④ 近代化によって屏風は近年忘れ去られてしまいつつある道具の代表格であり、日常生活史の観点から再評価する動きが活発だ。
- ⑤ 二十一世紀こそ、デザイナーは人々の身体や心に負担がかからないような便利なデザインを提供できるように模索するべきだ。

以下の問題は、日本文学科の受験生のみ解答すること

四 次の文章は、『源氏物語』の一節である。比叡山の麓、小野の里で暮らす尼君は、娘を亡くしているが、荒れはてた邸で倒れて

いた女(浮舟)を助け、亡き娘の代わりとしてこれを慈しみ、いま、小野の里とともに暮らしている。浮舟には、薫と匂宮との恋の葛藤から自ら死を選ぼうとした過去がある。以下は、尼君のもとへ亡き娘の夫であった中将が訪ねてくる場面である。これを読んで、後の問に答えよ。

尼君の昔の婿の君、今は中将にてもしたまひける、弟の禪師の君、僧都の御もとにもしたまひける、山籠りしたるをとぶらひに、はらからの君たち常に登りけり。横川よかはに通ふ道のたよりによせて、中将、ここにおはしたり。前駆さきうち追ひて、あてやかなる男の入り来るを見出だして、忍びやかにおはせし人の御さまはひぞさやかに思ひ出でらる。これもいと心細き住まひのつれづれなれど、住みつきたる人々は、ものきよげにをかしうしなして、垣ほに植ゑたる撫子もおもしろく、女郎花、桔梗など咲きはじめたるに、いろいろの狩衣姿の男どもの若きあまたして、君も同じ装束にて、南面に呼び据ゑたれば、うちながめてゐたり。年二十七、八のほどにて、ねびととのひ、心地なからぬさまもつけたり。

尼君、障子口に几帳立てて対面したまふ。まづ、うち泣きて、「年2ごろのつもりには、過ぎにし方いとどけ遠くのみなむはべるを、山里の光になほ待ちきこえさすること、うち忘れずやみはべらぬを、かつはあやしく思ひたまふ」とのたまへば、「心の中あはれに、過ぎにし方のことども、思ひたまへられぬを、あながちに住み離れ顔なる御ありさまに、怠りつつなむ。山籠りもうらやましう、常に出でたちはべるを、おなじくはなど、慕ひまとはさるる人々に、妨げらるるやうにはべりてなむ。今日は、みなはぶき棄ててものしはべりつる」とのたまふ。「山籠りの御うらやみは、なかなか今様だちたる御ものまねびになむ。昔を思し忘れぬ御心ばへも、世になびかせたまはざりけると、おろかならず思ひたまへらるるを多く」など言ふ。

人々に水飯*などやうのもの食はせ、君にも蓮の実などやうのもの出だしたれば、馴れにしあたりにて、さやうのこともつつみ

なき心地して、むら雨の降り出づるにとどめられて、物語しめやかにしたまふ。言ふかひなくなりにし人よりも、この君の御心ばへなどのいと思ふやうなりしを、よそのものに思ひなしたるなむ、いと悲しき、など忘れ形見をだにとどめたまはずなりにけむ、と恋ひ偲ぶ心なりければ、たまさかにかくものしたまへるにつけても、めづらしくあはれにおぼゆべかめる問はず語りもし出でつべし。

姫君は、我は我と思ひ出づる方多くて、ながめ出だしたまへるさまいとうつくし。白き単衣ひとへの、いと情けなくあざやぎたるに、袴も檜皮色ひはだにならひたるにや、光も見えず黒きを着せたてまつりたれば、かかることどもも、見しには変りてあやしうもあるかなと思ひつつ、こはごはしういらぎたるものども着たまへるしも、いとをかしき姿なり。御前なる人々、「故姫君のおはしまいたる心地のみしはべるに、中将殿を A 見たてまつれば、いとあはれにこそ。同じくは、昔のさまにておはしまさせばや。いとよき御あはひならむかし」と言ひあへるを、あないみじや、世にありて、いかにもいかにも人に見えむこそ、それにつけてぞ昔のことと思ひ出でらるべき、さやうの筋は、思ひ絶えて忘れなむ、と思ふ。

(『源氏物語』手習卷による)

(注)

- * 禅師の君…出家をしている。
- * 僧都…尼君の兄で、比叡山の横川よかわにいる。
- * 見出だして…主語は、浮舟。
- * 忍びやかにおはせし人…薫のこと。
- * 住みつきたる人々…この邸に住んでいる人たち。
- * 水飯…飯を水にひたしたもの。
- * 問はず語り…浮舟を引き取るようになった数奇な事情を語ること。

*いららぎ：ちくちくと肌を刺す感じ。

*故姫君のおはしまいたる心地：浮舟がいることが、まるで尼君の亡き娘がいるようだと感じること。

問一 傍線部1「あてやかなる」を現代語訳せよ。解答用紙(その2)を使用。

問二 傍線部2「年ごろのつもり」とは、どのような意味か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 。

- ① 年月が経過したこと。
- ② かつての婚が出世したこと。
- ③ 中将と会いたいという気持ち。
- ④ 仏道の功德を積んでいること。
- ⑤ この邸に通い続けてほしいという思い。

問三 傍線部3「うち忘れずやみはべらぬ」とは、どういうことか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 。

- ① 出家をする前の年月を忘れずにいる
- ② 毎日欠かすことなく勤行を行っている
- ③ 娘のことをいつまでも忘れられずにいる
- ④ 忘れることなく同じ気持ちのままである
- ⑤ 中将が尼君を忘れずに訪問しつづけている

問四 傍線部4「忘りつつなむ」の後に補う表現を はべらざりける」とするとき、 にあてはまる謙譲語の

動詞を、ひらがな三字で適切な活用形にして書け。解答用紙(その2)を使用。

問五 傍線部5「なかなか」の意味として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **29**。

- ① ちよつと
- ② もともと
- ③ かえつて
- ④ ひじょうに
- ⑤ すばらしい

問六 傍線部6「世になびかせたまはざりける」とは、どういうことか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。

解答欄番号は **30**。

- ① 中將が世間の流行に関心を払わずに生きているということ。
- ② 中將が世間体を気にしながら暮らし続けているということ。
- ③ 中將が今も亡き妻の母に配慮をする感心な人であるということ。
- ④ 中將の仏道への思いは一般の人々とは異なっているということ。
- ⑤ 中將の今なお妻を思う気持ちが生かされて世間に受け入れられないということ。

問七 傍線部7「など忘れ形見をだにとどめたまはずなりにけむ」とあるが、なぜか。その理由として、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **31**。

① 忘れ形見の子どもがいれば、中将の再婚に反対することができるから。

② 忘れ形見の子どもがいれば、中将が尼君のもとを訪れる機会が多くなるにちがいないから。

③ 忘れ形見の子どもを中将に残さず、この屋敷で自分が育てればよかったと後悔しているから。

④ 娘が忘れ形見の品を残していれば、中将がこれからもずっと娘のことを思ってくれるだろうから。

⑤ 娘が忘れ形見の品を残していれば、日々それを見ることによって老いの悲しみが紛らわされるから。

問八 空欄 **A** に入る語として最適な語を、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **32**。

① さへ

② だに

③ のみ

④ こそ

⑤ なむ

問九 傍線部8「昔のさまにておはしませばや」とは、どのような意味か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **33**。

① 尼君に出家する前の姿に戻ってほしい、ということ。

② 浮舟が尼君のもとに来る前に戻ってほしい、ということ。

③ 中将と亡き尼君の娘の夫婦姿をまた見たい、ということ。

④ 中将が尼君の婿のようにして通ってきてほしい、ということ。

⑤ 小野から都に戻って、元どおりの生活がしたい、ということ。

問十 傍線部「さやうの筋」とは、どのようなことをさすか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **34**。

- ① 昔に戻ること
- ② 出家をすること
- ③ 長生きすること
- ④ 男女の恋の関係
- ⑤ 他人と関わる生活

問十一 二重傍線部 a ～ e の助動詞「らる」を同じ意味のもの同士で二つのグループに分けた場合、正しいものを次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **35**。

- ① a・d b・c・e
- ② a・e b・c・d
- ③ a・b・c d・e
- ④ a・b・d c・e
- ⑤ a・b・c・d e

問十二 出典の『源氏物語』手習巻は、宇治十帖に属する巻である。次に挙げる人物の中で宇治十帖に登場する人物は誰か。正し
いものを①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 36。

- ① 紫上
- ② 六条御息所
- ③ 朧月夜
- ④ 桐壺帝
- ⑤ 八の宮

